**企業とつながる・企業とつくる日本語学習**

**近藤 彩・栗原 由加・倉本 文子・レ ティ ホン ヴァン・   
ホアン ティ ラン ニー・グエン ティー フオン チャー・戸﨑 典子**

**要旨**

ビジネス日本語研究会企画の本教師研修とワークショップは2部構成で企業とつながる・企業とつくる日本語学習について考える機会を提供する。第1部では、企業と教師の視点からインターンシップの課題と実践について述べる。インターンシップは、受け入れ企業と教育機関が協力し、状況に合わせてプログラムを柔軟に工夫することで、学習者の状況やニーズに合わせた効果的な実施内容にすることが可能である。第2部では企業とつながる日本語学習の例として、ケース学習を取り上げ、フエ大学外国語大学のベトナム人教師によるワークショップを行う。

**キーワード:**

ビジネス日本語教育、企業との協働、インターンシップ、ケース学習

**Abstract**

In this session, we planned lectures and workshop to connect Japanese language education and business /workplaces. In the former half of the training, we suggest the efficient way of internship. Business letters written by Japanese learners to the accepting company will be introduced and discussed with participants including businesspeople. In the latter half of the session, “Case-based learning” will be introduced by Vietnamese teachers who are changing their own practices. Participants will discuss how to create and design the business Japanese Language education with collaboration.

**Keywords:**

Japanese language education in business, collaboration, internship, case-based learning

**はじめに**

日本語教育を進めていく上で、特に働くこと（就労）を目的とする日本語教育の場合、日本語教育機関や日本語教師/教員が企業とつながることは非常に重要である（近藤2022他）。この背景には、日本語学習を長年続けようやく就職しても、学んだ日本語が仕事に活かせないことがある。

日本語を使って働くとはどういうことか、どのような力が必要なのか、本研修およびワークショップでは、企業と連携して行う日本語教育の現状を共有し、理論や実践の紹介をする。前半は職場体験に関する教師研修を、後半はケース学習のワークショップ及び教師研修を行う。参加者との意見交換も随時行う。

**1. 職場体験による日本語学習の現状と課題**

企業と教育機関とが連携して行う教育の代表的なものとして、職場体験（以下、インターンシップ）がある。しかし、一口に「インターンシップ」といっても、各教育機関のカリキュラムや連携先の企業の事情によって、日数、行先、業務内容などは様々である。最近では、日本在住の学生が海外へ行って、現地企業のインターンシップに参加するプログラムもある。このような状況で、教育現場は、学生にとって学習効果の高いインターンシップの実施方法を模索しているが、以下のような問題も感じている。

1）インターンシップ先確保の問題

カリキュラムの中にインターンシップが科目として設けられている場合は、インターンシップに参加する学生数が数十人から数百人になることもあり、各学生に適したインターンシップ先を確保するのは大変なことである。

2）学生の日本語力と体験できる職種の問題

学生が日本でのインターンシップに参加する場合、JLPTがN3以下の学生は、日本語力がさほど必要ではない業務に就く可能性が高くなる。実際にそうなった場合は、長期インターンシップに参加しても、日本語力、業務遂行能力の向上は、さほど期待できない。

3）インターンシップ先と教育機関との情報共有の問題

学生一人一人がインターンシップ中にどのような業務を体験し、何を学んでいるのかについて、教員は詳しい状況を把握するのが難しい。

4）インターンシップの学習成果の問題

上記3）の問題とも関連するが、学生がどのような業務を体験したのかが詳しくわからない場合、教員は、インターンシップによってどのような学習成果があったのかを判断、評価することが難しい。

**2. 各教育現場に合った企業との連携方法の開発と提案**

**2.1.　オンラインプロジェクトインターンシップ**

　インターンシップ研究は始まったばかりであり、各教育現場が、学習効果の高いインターンシップを行うための取り組みを工夫している段階である。ここでは、その一つとして、教員指導方式のインターンシップ（以下「オンラインプロジェクトインターンシップ」（栗原2023））を紹介する。

　オンラインプロジェクトインターンシップとは、上記1で述べた2）から4）の問題を解消するために、神戸学院大学グローバル・コミュニケーション学部日本語コースで開発を進めているインターンシップ実施方式である。この方式の特徴は、教員が主導してインターンシップ指導を行う点にある。学生はインターンシップ先企業に毎日通勤するのではなく、教員の指導の下、企業とコミュニケーションを取りながら、事前に課されたプロジェクトを遂行する。この方式は、いわばビジネス日本語の授業と、企業での職場体験の中間に位置する学習方式である。オンラインプロジェクトインターンシップは、実習の日数、実施形態（対面か、オンラインか）、場所（教室か、職場か）、実習内容等を柔軟に設定できるため、連携する企業さえ見つかれば、オンラインや教室でも、ビジネス現場で求められるスキルを、企業の価値観をふまえてトレーニングすることができる。

本ワークショップでは、事例として2023年度に実施したオンラインプロジェクトインターンシップの実施方法を紹介する。また、その中で行ったビジネスメールの書き方のトレーニングを例に挙げ、インターンシップならではの学修のポイントを示す。さらに、企業側の評価観点を紹介する。

**2.2.　ケース学習**

後半では、「ケース学習」（近藤・金他2013）を行う。ケース学習とは、現実に存在する企業での事例（仕事上の摩擦）を題材とし、設問に沿って学習者が協働で問題整理や討論を行うことを通じて、ビジネス場面での問題解決方法を導き出すとともに、その一連で過程について内省を行う学習活動である。ケース学習は問題発見解決能力、異文化理解能力、協働力といった幅広いビジネスコミュニケーション能力の養成を促すものであり、日本、ベトナム、ヨーロッパをはじめとする日本語教育のみならず、外国人を雇用する企業の研修でも広く行われている。本ワークショップでは、数年にわたり教師研修（近藤・桑原他2020）を受講し、フエ大学においてビジネス日本語教育を、教師主導型から活動型へと展開しているベトナム人教師によって行われる。最後に、ベトナムや日本で企業とつながるために何をすべきかを参加者と議論する。

**おわりに**

変化が著しい社会では、教育においてもさまざまな工夫が求められる。日本語教育は教室の中で行われるだけでなく、学習者が社会に出て活躍できることを十分に考慮してデザインされる必要がある。企業とつながる日本語教育は、大学教員間の話し合いのみでは実現が難しい。まずは卒業生がいる企業とつながるところから始めることができよう。

日本語教育機関と企業が協働するには課題もある。本研修・ワークショップには企業も参加することから、日本語教師/教員と企業の双方の視点からディスカッションをし、企業とつくる日本語学習の実現の可能性を探る予定である。

付記：本研究はJSPS科学研究費（JP20H01274）の助成を受けて行ったものである。本研修・ワークショップには桑原和子氏（フエ大学外国語大学）の協力を得た。

**参考文献**

神村初美・池田玲子・近藤彩（2022）「ベトナムの日本語教育における協働学習を用いたオンライン長期型教師研修－ハブとしての現地コーディネーターの変容に注目して－」『日本語研究』首都大学東京・東京都立大学日本語・日本語教育研究会, pp.91-104

栗原由加（2023）「オンラインプロジェクトインターンシップ実践報告―柔軟性のあるインターンシップ実施モデル開発に向けて―」『神戸学院大学グローバル・コミュニケーション学会紀要』第8号, pp.103-115

近藤彩（2022）「就労を目的とした日本語教育の課題と協働のためのリソース : 共に豊かに生き、働くために」『小出記念日本語教育学会論文集』31, pp.149-164

近藤彩・金孝卿・ヤルディ，ムグダ・福永由佳・池田玲子（2013）『ビジネスコミュニケーションのためのケース学習 職場のダイバーシティで学び合う』【教材編】ココ出版

近藤彩・桑原和子・NGUYEN THI HUONG TRA・DANG THAI QUYNH CHI・池田玲子（2021）「活動型ビジネス日本語教育への展開と課題 ―ベトナム人教師研修の観点から―」『専門日本語教育研究』第23号, pp.91-98

**＜著者＞**

**近藤　彩**

**AYA KONDOH**

博士、 昭和女子大学大学院文学研究科研究科長・教授

Ph.D., Dean and Professor of Graduate School of Letters, Showa Women’s University

**連絡先：**[a-kondoh@swu.ac.jp](file:///C:\\Users\\a-kondoh\\Desktop\\YahooJapanMail_2023_10_17\\a-kondoh@swu.ac.jp)

**主な研究分野：**ビジネスコミュニケーション、日本語教授法、協働学習

**その他：**

**主な著書**『ビジネスコミュニケーションのためのケース学習 ―職場のダイバーシティで学び合う』2013共著【教材編】／2015共著【解説編】（ココ出版）、『日本人も外国人もケース学習で学ぼう ビジネスコミュニケーション："異文化"トラブル解決のヒント』2020共著（日経HR） **主なリソース開発**『Easy Japanese for WORKしごとのにんほんご』（NHK WORLD）、「日本人社員も外国籍社員も 職場でのミスコミュニケーションを考える」（経済産業省）

**栗原　由加**

**YUKA KURIHARA**

博士、 神戸学院大学グローバル・コミュニケーション学部・教授

Ph.D., Professor Faculty of Global Communication, Kobe Gakuin University

**連絡先：**[kurihara@gc.kobegakuin.ac.jp](file:///C:\\Users\\a-kondoh\\Desktop\\YahooJapanMail_2023_10_17\\kurihara@gc.kobegakuin.ac.jp)

**主な研究分野：**日本語学、日本語教育、キャリア教育

**その他：**

**新聞連載** 特定非営利活動法人国際留学生協会発行『向学新聞』「留学生の就職支援」第1回（310号）～第9回（318号）

**倉本　文子**

**FUMIKO KURAMOTO**

カイ日本語スクール

教務　主任講師　企業向け日本語教育・講師研修担当

KAI JAPANESE LANGUAGE SCHOOL

Chief Instructor

**連絡先：**[kuramoto@kaij.co.jp](mailto:kuramoto@kaij.co.jp)

**レ　ティ　ホン　ヴァン**

**LE Thi Hong Van**

修士、フエ大学外国語大学　日本語・日本文化学部　講師

MA, Faculty of Japanese Language and Culture University of Foreign Languages and International Studies, Hue University

**連絡先：**[lehongvan.hucfl@gmail.com](file:///C:\\Users\\a-kondoh\\Desktop\\YahooJapanMail_2023_10_17\\lehongvan.hucfl@gmail.com) [/lthvan@hueuni.edu.vn](mailto:/lthvan@hueuni.edu.vn)

**主な研究分野：**日本語教育、協働学習

**その他：**

阿部次郎、レ ティ ホン ヴァン（2021）「日越両言語における謝罪表現の比較とベトナム人を対象とした日本語教育への応用」『北海道教育大学紀要　人文科学・社会科学編』, pp.1‐16

LE Thi Hong Van (2021). Strategies of apologies in Vietnamese and Japanese - A contrastive study based on Brown and Levinson’s politeness theory. Proceedings of the 7th national conference interdisciplinary research in linguistics and language education, pp.533-543

**ホアン　ティ　ラン　ニー**

**HOANG Thi Lan Nhi**

修士、フエ大学外国語大学　日本語・日本文化学部　講師

MA, Faculty of Japanese Language and Culture

University of Foreign Languages and International Studies, Hue University

**連絡先：**[lannhiht16@gmail.com](mailto:lannhiht16@gmail.com) / <htlnhi@huflis.edu.vn>

**主な研究分野：**日本語・日本文化、協働学習、対照言語学

**その他：**

HOANG Thi Lan Nhi (2021). Difficulties in translating Japanese comics for students of the Faculty of Japanese Language and Culture, University of Foreign Languages, Hue University. Proceedings of the 7th national conference interdisciplinary research in linguistics and language education, pp.998 - 1008

HO Dang My An & HOANG Thi Lan Nhi (2022). A survey of factors affecting learning motivations of the student at the Faculty of Japanese Language and Culture, University of Foreign Languages and International Studies, Hue University. Proceedings of the 7th national conference interdisciplinary research in linguistics and language education, pp.5-16

**グエン　ティー　フオン　チャー**

**NGUYEN Thi Huong Tra**

博士、フエ大学外国語大学　日本語・日本文化学部　学部長

Ph.D., Dean of Faculty of Japanese Language and Culture

University of Foreign Languages and International Studies, Hue University

**連絡先：** <nthtra@hueuni.edu.vn>

**主な研究分野：**協働学習、日本語-日本文化

**その他：**

NGUYEN Thi Huong Tra (2021). Active teaching activities at the Department of Japanese language and Culture, University of Foreign Languages, Hue University - peer learning activities in a Japanese writing class. Journal of Language and Life Linguistic Society of Vietnam、 No 7 (314)、pp.41-48

近藤彩、桑原和子、NGUYEN Thi Huong Tra、DANG Thai Quynh Chi、池田玲子（2021）「活動型ビジネス日本語教育への展開と課題：ベトナム人教師研修の観点から」『専門日本語教育研究』第23号, pp. 91-98

NGUYEN Thi Huong Tra、桑原和子（2022）「ベトナムにおける日本語教育の歩みと国際化への課題 ―フエ大学外国語大学の取り組みを事例として―」『3rd International Conference on Culture and Education (ICCE 2022)』, pp 607-614

**戸﨑　典子**

**NORIKO TOSAKI**

株式会社アルプスビジネスクリエーション

人材サービス部　部長　兼　海外サポート課　課長

ALPS BUSINESS CREATION CO.,LTD.

Senior Manager Staffing Service Dept.

**連絡先：**[noriko.tosaki@jp.alps.com](mailto:noriko.tosaki@jp.alps.com)

**その他：**

「製造業における外国人エンジニアにかかわる環境整備の事例 ―日本語教育界との関わりを通じて―」発表、「企業関係者と日本語教育関係者の協働による外国人エンジニアのための環境整備 ―企業研修を中心に―」2019年度日本語教育学会春季大会パネルセッション